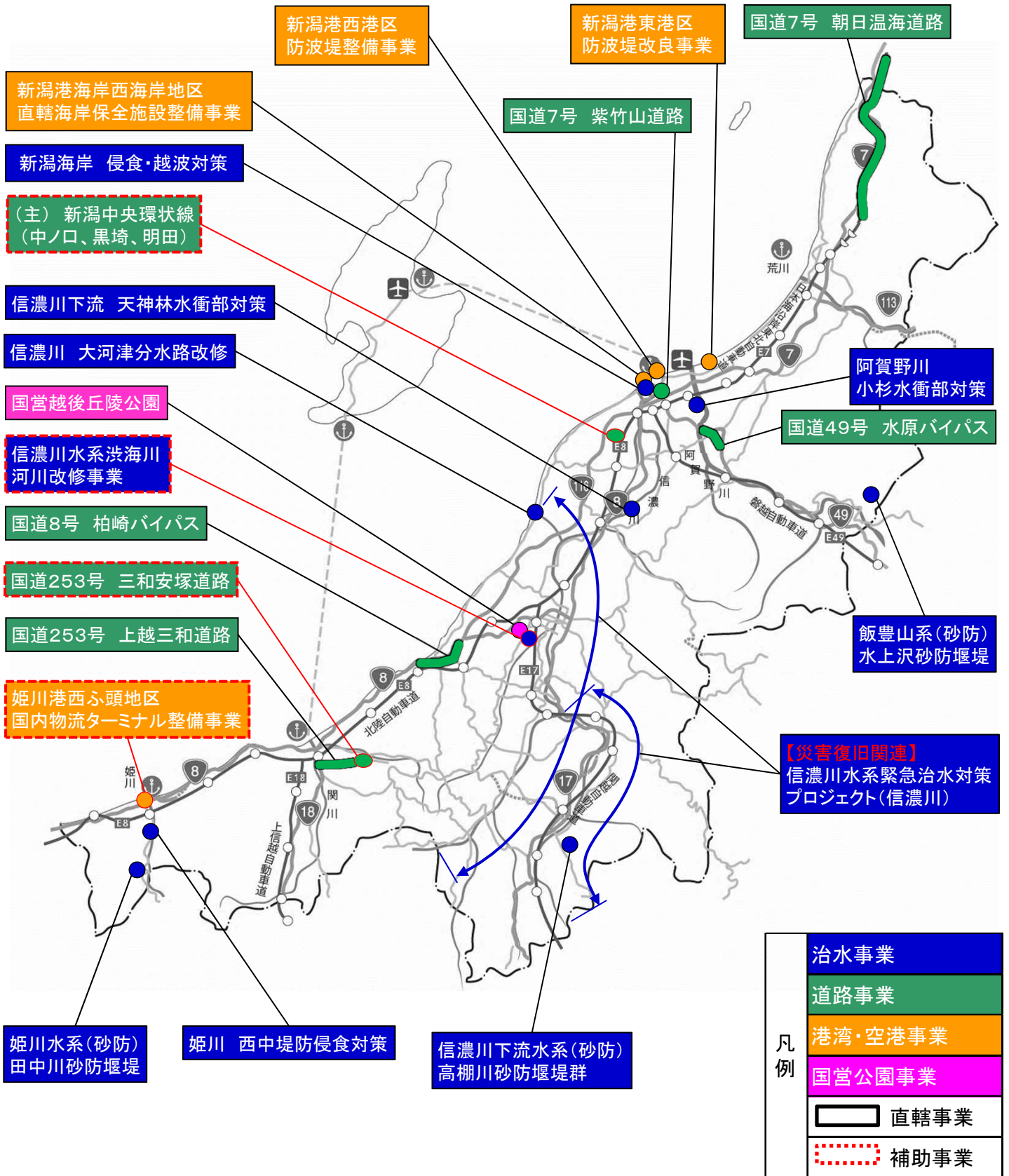


北陸地方整備局

令和元年度補正予算 主要事業

〔参考資料〕

新潟県内の主要事業



しなのがわ

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(信濃川)^{※1}の着手

にいがた おちや
新潟県小千谷市 他

R1補正事業費
3,414百万円^{※2}

^{※2}: 信濃川及び魚野川の河川等災害復旧費、河川等災害関連事業費、河川等大規模災害関連事業費のR1補正全体事業費

事業の概要

令和元年10月台風第19号豪雨水害では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、流域内の関係機関が連携して河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、「信濃川水系緊急治水対策会議」で協議、調整を図り、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめました。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和元年度補正予算の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに着手します。

補正予算により、「河川における対策」の河道掘削を実施します。



^{※1}: 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinagogawakinkyutisuitaisaku/sinagogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

阿賀野川 小杉 水衝部対策 の推進

新潟県新潟市

R1補正事業費
275百万円※1

※1: 阿賀野川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

阿賀野川左岸の新潟市江南区小杉地区では、平成27年9月関東・東北豪雨等により、堤防付近の侵食、洗掘が進行しており、堤防が決壊した場合、人口・資産が集中する政令指定都市である新潟市が氾濫域に含まれるため、甚大な被害が予想されます。

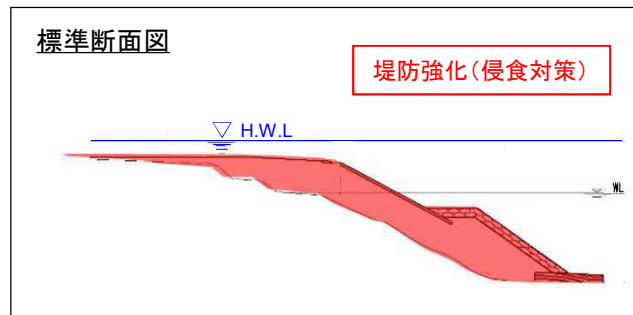
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

堤防強化（侵食対策）を推進することで、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、小杉地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。



しなのがわ 信濃川下流 天神林 水衝部対策 の推進

にいがた かも
新潟県加茂市

R1補正事業費
550百万円※1

※1:信濃川下流河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

しなのがわ
信濃川下流域はゼロメートル地帯が広がる広大な低平地を抱えており、堤防が破堤した場合、浸水期間が長期化するなど、甚大な被害が予想されます。そのため、本川において、河床深掘れ箇所や水衝部等による河岸侵食・護岸欠損を未然に防止するため、侵食・洗掘対策を推進します。

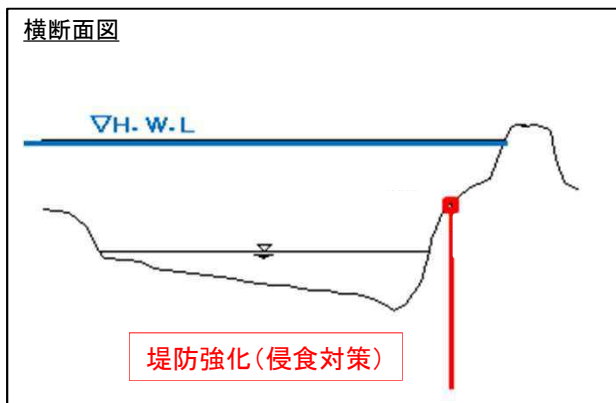
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

しなのがわ
堤防強化（侵食対策）を推進することで、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

てんじんばやし
補正予算の充当により、天神林地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。



しなのがわ おおこうづ ぶんすいろ
信濃川 大河津分水路改修 の推進
 にいがた ながおかし
新潟県長岡市

R1補正事業費
 880百万円※1

※1:信濃川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年（1922年）に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水、令和元年10月台風第19号による洪水では、分水路直上流及び分水路区間で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築、橋梁架替等を実施することとしています。

整備効果

大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、河道掘削を推進し、事業進捗を図ります。



流下断面が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路

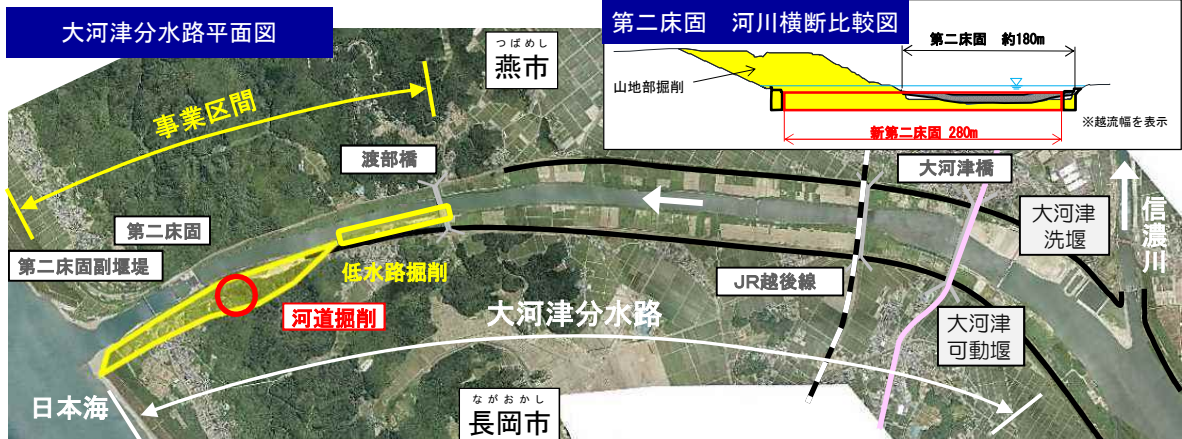


大河津分水路の状況（令和元年10月台風第19号）



第二床固副堰堤付近の状況（令和元年10月13日16時頃）

JR越後線信濃川分水橋梁付近の状況（令和元年10月13日12時頃）



ひめかわ にしなか
姫川 西中 堤防侵食対策 の推進
にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

R1補正事業費
90百万円※1

※1: 姫川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

ひめかわ いといがわ
姫川は、糸魚川市内を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

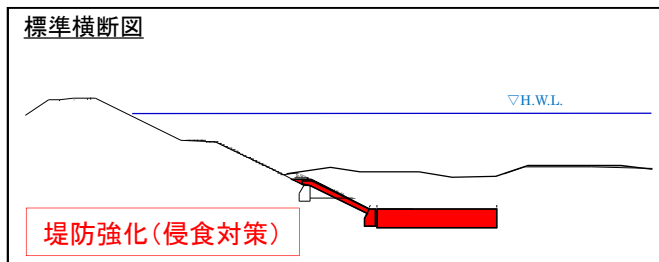
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

堤防強化（侵食対策）を推進することで、ひめかわ
姫川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、にしなか
西中地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。



しなのがわ
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進
 にいがた みなみうおぬま こうだながわ
新潟県南魚沼市（高棚川砂防堰堤群）

R1補正事業費
 530百万円

事業の概要

しなのがわ うおのがわ にいがた ふくしま
 信濃川下流水系の魚野川流域は、平成23年7月の新潟・福島豪雨によって発生した不安定な土砂や岩塊が、河床内に大量に堆積・残存している土石流危険渓流であり、集中豪雨等によって再度災害が発生する危険性が高まっています。

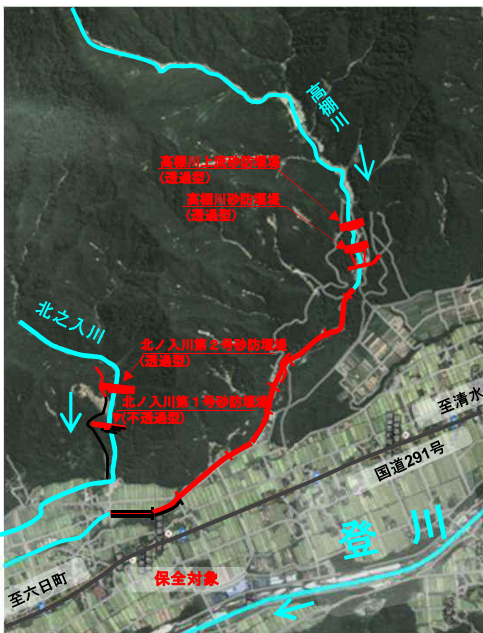
このため、高棚川砂防堰堤群では、過去の出水等による既設砂防堰堤の損壊状況等を踏まえ、新設の砂防堰堤群を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

しなのがわ
 砂防堰堤工の整備により、近傍の集落や国道を土石流による直接被害から保全するだけでなく、信濃川下流水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、南魚沼市を始めとした下流域の沿川に在る保全対象の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

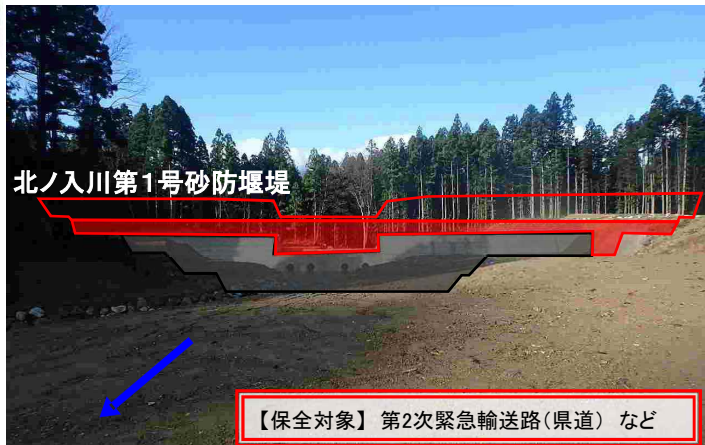
補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します



既設林道の被災状況（H23.7新潟・福島豪雨）



既設砂防堰堤の異常堆砂状況



【保全対象】第2次緊急輸送路(県道) など

ひめかわ
姫川水系直轄砂防事業の推進
 にいがた いといがわ たなかがわ
新潟県糸魚川市（田中川砂防堰堤）

R1補正事業費
 70百万円

事業の概要

ひめかわ
 姫川水系の上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

こたきがわ
 この中でも小滝川流域は上流域だけでなく個々の溪流についても荒廃が著しく、平成28年8月にたなかがわ
 田中川で発生した土石流では下流側の電力施設が被災しました。

このため、田中川砂防堰堤では、新設の砂防堰堤を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、近傍の電力施設を土石流による直接被害から保全するだけでなく、こたきがわ
 小滝川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるいといがわ
 糸魚川市の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

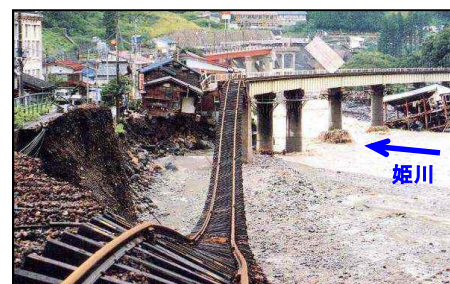
補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します。



下流側の電力施設と砂防堰堤（整備中）との位置関係



下流域の保全対象（各種交通網）



H7年姫川災害（流出したJR大糸線）

いいでさんけい
飯豊山系直轄砂防事業の推進
にいがた ひがしかんばら あがまち みずかみさわ
新潟県東蒲原郡阿賀町（水上沢砂防堰堤）

R1補正事業費
101百万円

事業の概要

飯豊山系の阿賀野川流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

この中でも、実川及び馬取川流域は土石流の到達が想定される範囲に人家等の保全対象が存在する土石流危険溪流（土砂災害警戒区域）が多数存在しており、迅速かつ計画的に対策工を実施する必要があります。

このため、水上沢砂防堰堤では、水上沢集落近傍の溪流に関する土砂等の堆積状況等を踏まえ、新設の砂防堰堤を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、近傍の集落を土石流による直接被害から保全するだけでなく、馬取川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、阿賀町を始めとした下流域の沿川に在る保全対象の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します。



S42年8月羽越災害
馬取川の氾濫で倒壊寸前となった家



【保全対象】荒沢集落
人家6戸、公民館1箇所



水上沢砂防堰堤

新潟海岸 侵食・越波対策の推進（金衛町工区）

新潟県新潟市

R1補正事業費
200百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のR1補正全体事業費

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴やサーフィン等、年間を通じた利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、金衛町工区のヘッドランドの整備を推進します。



冬期風浪状況(平成27年3月)



金衛町工区被災状況(平成18年9月)

国道7号 ^{しちくやま}紫竹山道路事業の推進

^{にいがた}新潟県 ^{にいがた}新潟市

R1補正事業費
300百万円

事業の概要

^{しちくやま}紫竹山道路は、^{にいがた}新潟市中心部へのアクセス道路である一般国道7号を立体道路化することで、交通渋滞の緩和や交通事故の削減等を図ることを目的とした、^{にいがた}新潟市中央区^{あぶみ}鑑から同区^{しちくやま}紫竹山4丁目に至る延長約0.7kmの道路事業です。

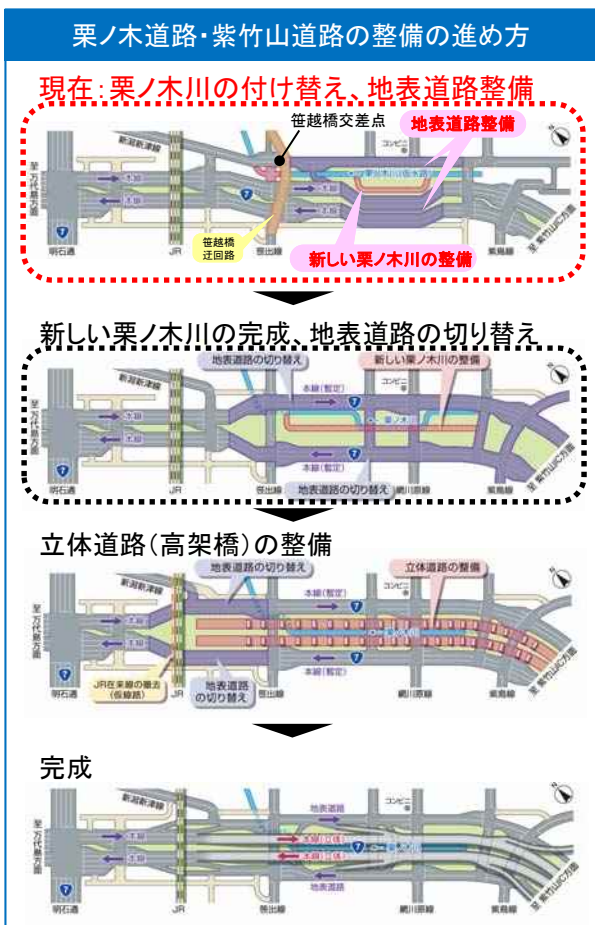
整備効果

- ・市街地部での慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減
- ・中心市街地へのアクセス向上およびまちづくり支援

令和元年度補正予算の事業内容

現在、^{しちくやま}紫竹山道路では、立体道路（高架橋）整備に向けて必要となる用地買収、改良工事及び栗ノ木川の付替工事を推進しています。

補正予算の充当により、立体道路（高架橋）整備に向けた改良工事（地表道路の整備）を実施し、着実に事業を推進します。



国道7号 朝日温海道路事業の推進

新潟県村上市・山形県鶴岡市

R1補正事業費
2,500百万円※

※R1補正事業費は北陸地方整備局分

事業の概要

「日本海沿岸東北自動車道」朝日温海道路は、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とした道路であり、新潟県内では、村上市川端から山形県境間の延長約34.1kmで事業を推進しています。

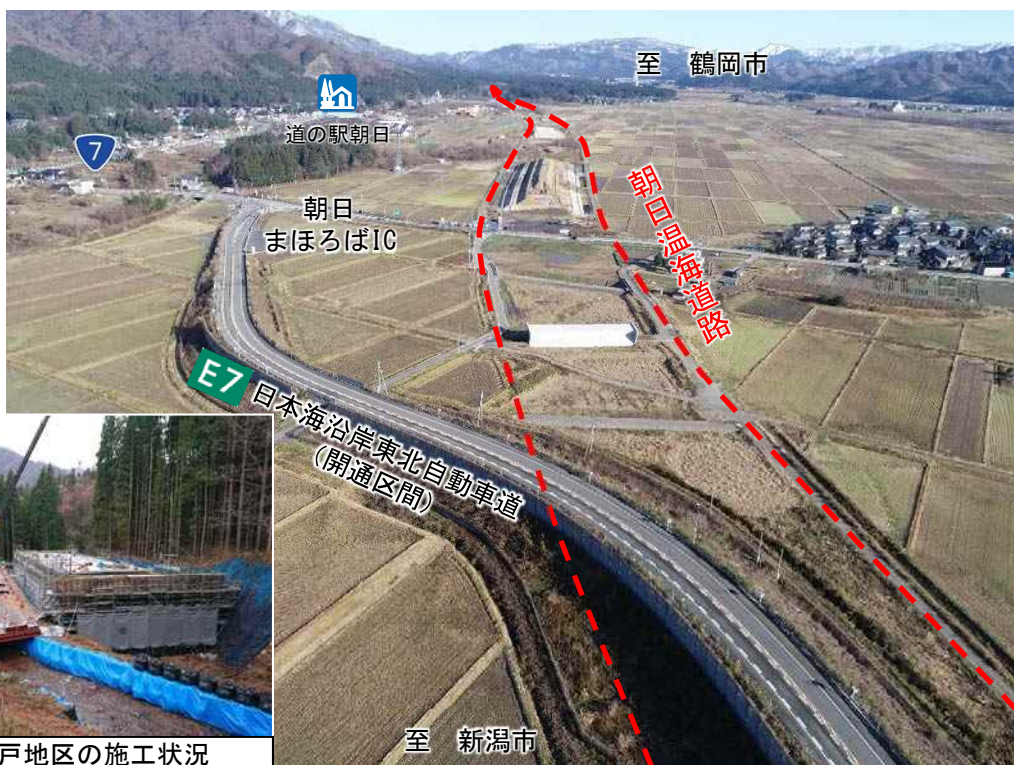
整備効果

- ・災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上
- ・周遊性の向上による観光振興、地域産業の活性化

令和元年度補正予算の事業内容

現在、朝日温海道路の新潟県区間では、用地買収、改良工事を推進するとともに、(仮称)1号・4号・11号トンネル及び橋梁上下部工事を推進しています。

補正予算の充当により、トンネル掘削土を活用する檜原地区や大須戸地区、勝木地区などの改良工事(地盤改良等)を実施します。これにより、今後のトンネル工事が円滑に進みます。



▲ 大須戸地区の施工状況

国道8号 ^{かしわぎ}柏崎バイパス事業の推進

^{にいがた} ^{かしわぎ}新潟県柏崎市

R1補正事業費
400百万円

事業の概要

^{かしわぎ}柏崎バイパスは、一般国道8号の^{かしわぎ}柏崎市街地における交通渋滞の緩和と都市内交通の円滑化を目的とした、^{かしわぎ}柏崎市大字^{ながさき}長崎から同市大字^{くじらなみ}鯨波に至る延長約11.0kmのバイパス整備事業です。

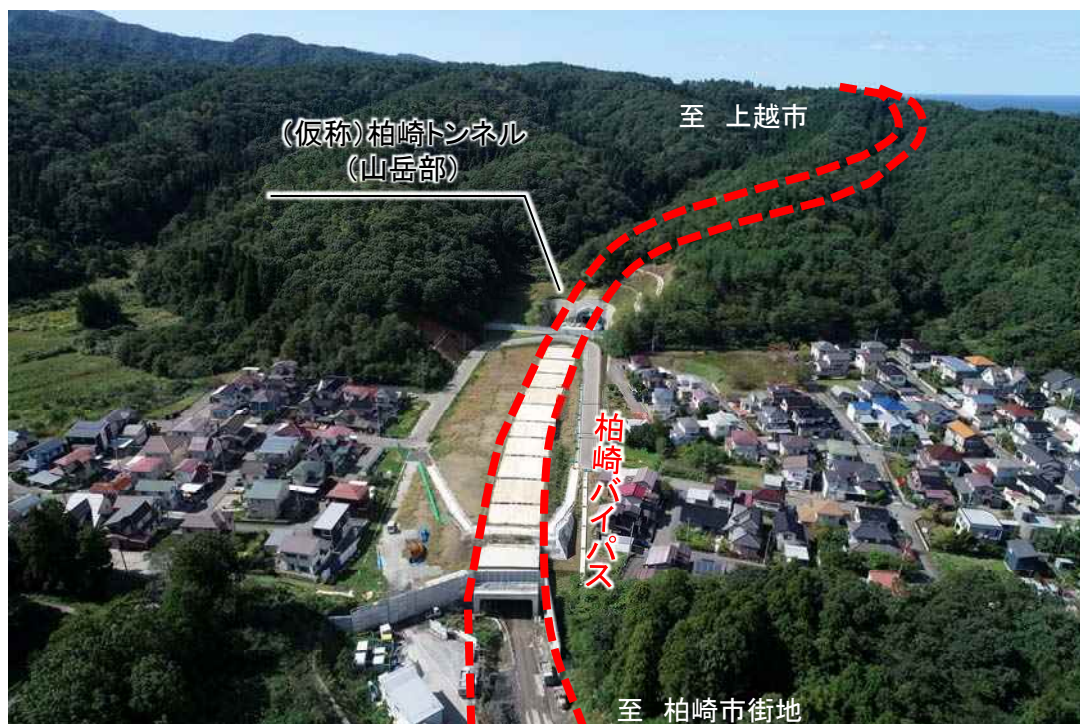
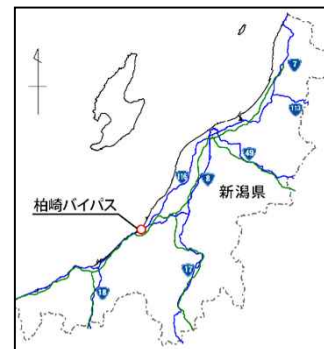
整備効果

- ・交通渋滞の緩和
- ・交通事故の削減
- ・災害に強い道路ネットワークの形成

令和元年度補正予算の事業内容

現在、^{かしわぎ}柏崎バイパスでは、^{かしわぎ}柏崎市城東から同市^{くじらなみ}鯨波間の早期開通に向けて、（仮称）^{かしわぎ}柏崎トンネル（山岳部）工事を推進しています。

補正予算の充当により、トンネル掘削土の改良工事及びトンネル掘削土を活用する^{たからだ}宝田地区の改良工事（盛土）を実施します。これにより、トンネル工事とともにトンネル掘削土を活用する改良工事（盛土）が円滑に進みます。



国道49号 ^{すいばら}水原バイパス事業の推進

^{にいがた}新潟県 ^{あがの}阿賀野市

R1補正事業費
300百万円

事業の概要

^{すいばら}水原バイパスは、一般国道49号の^{あがの}阿賀野市街地における交通渋滞の緩和および道路交通の安全・円滑化を目的とした、^{あがの}阿賀野市^{じしゃ}寺社から同市^{しもくろせ}下黒瀬に至る延長約8.1kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和および交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成
- ・ 地域産業・観光の活性化

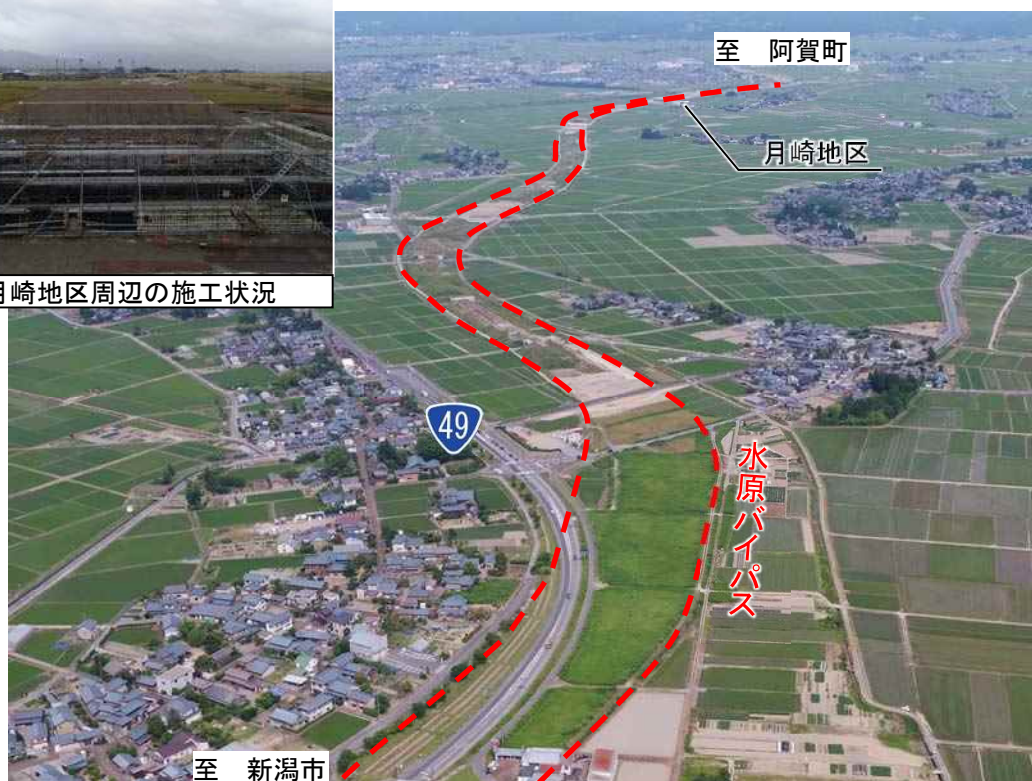
令和元年度補正予算の事業内容

現在、^{すいばら}水原バイパスは、令和4年夏までの開通に向け、改良工事及び橋梁上下部工事を推進しています。

補正予算の充当により、^{つきざき}月崎地区の改良工事（軽量盛土）を実施し、令和4年夏までの開通に向けて着実に事業を推進します。



▲月崎地区周辺の施工状況



国道253号 じょうえつさんわ 上越三和道路事業の推進

にいがた じょうえつ
新潟県上越市

R1補正事業費
600百万円

事業の概要

じょうえつさんわ
上越三和道路は、冬期を含めた安全性・信頼性を確保するとともに、高規格幹線道路との連携により広域的な交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与することを目的とした、じょうえつてら
上越市寺から同市さんわほんごう
三和区本郷に至る道路整備事業です。

整備効果

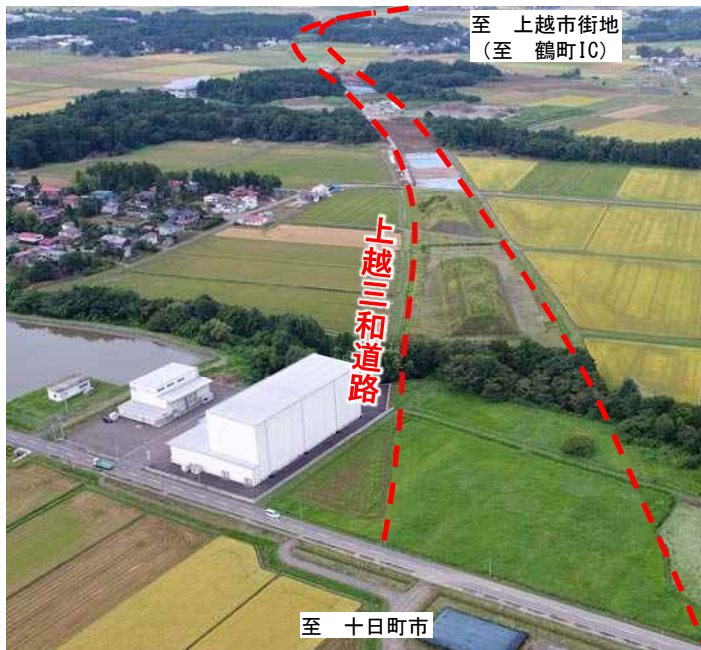
- ・ 広域的な地域の連携強化・活性化
- ・ 冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保
- ・ 第3次医療救急機関へのアクセス性向上

令和元年度補正予算の事業内容

じょうえつさんわ
上越三和道路は、平成31年3月に寺IC～鶴町IC間が開通し、
令和元年12月には門田新田ICが開通しました。

補正予算の充当により、つるまち 鶴町IC～（仮称）さんわ 三和IC間の地盤改良工事を実施します。

じょうえつさんわ
上越三和道路の事業地内は、深さ約60mにわたる軟弱地盤が分布しており、多くの軟弱地盤対策が必要となることから、補正予算の充当により早期の開通に向けて事業を推進します。



にいがた にしこう
新潟港 西港区
防波堤整備事業の実施

にいがた にいがた
新潟県新潟市

R1補正事業費
280百万円

事業の概要

にいがた にしこう
新潟港西港区は、北海道や佐渡との定期フェリー航路を中心とした交流拠点としての役割を担っており、港内静穏度^{せいおんど}を確保するため、防波堤整備事業を実施しています。

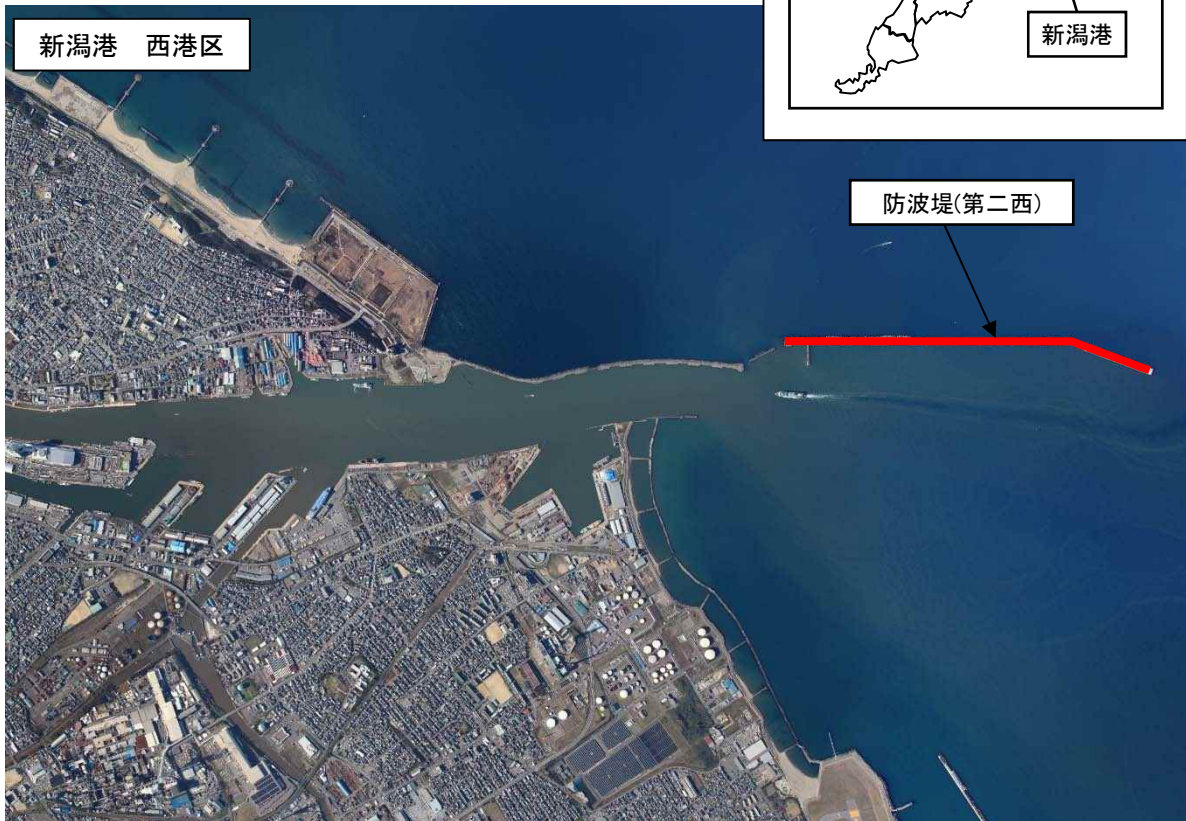
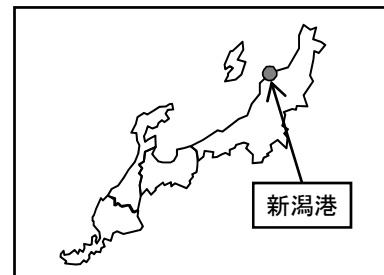
整備効果

せいおんど
港内静穏度が確保され、船舶が安全に利用できるようになります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、防波堤の整備を実施します。

【位置図】



にいがた ひがしこう
新潟港 東港区
防波堤改良事業の実施

にいがた にいがた せいろうまち
新潟県新潟市・聖籠町

R1補正事業費
210百万円

事業の概要

にいがた ひがしこう
新潟港東港区は、本州日本海側最大の取扱量を誇る国際コンテナ物流やLNG等のエネルギー輸入拠点としての役割を担っており、港内静穏度^{せいおんど}を確保するため、防波堤改良事業を実施しています。

整備効果

せいおんど
港内静穏度が確保され、船舶が安全に利用できるようになります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、防波堤の改良を実施します。

【位置図】



新潟港 東港区



にいがた にしかいがん
新潟港海岸 西海岸地区
直轄海岸保全施設整備事業の実施

にいがた にいがた
新潟県新潟市

R1補正事業費
480百万円

事業の概要

にいがた にしかいがん
新潟港海岸西海岸地区では、背後地域の土地や資産を防護するため、離岸堤<潜堤>、突堤、
護岸<養浜>を組み合わせた面的防護工法により、侵食対策を実施しています。

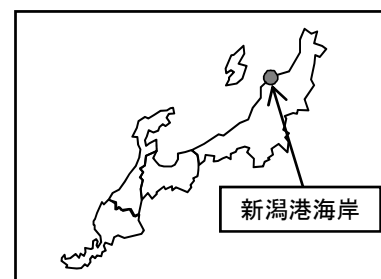
整備効果

背後地域の侵食・浸水被害に対する安全が確保されます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、突堤の整備を実施します。

【位置図】



新潟港海岸 西海岸地区



えちごきゅうりょう
国営越後丘陵公園

にいがた ながおか
新潟県長岡市

R1補正事業費
140百万円

事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

整備効果

平成10年7月の開園（29ha）以来、平成15年度までに「健康ゾーン」（約120ha）を全面開園し、平成30年6月までに「里山フィールドミュージアム」の一部（全体約280haの内、西側部分約220ha）を開園しています。

平成10年の開園から入園者数は年々増加しており、平成27年度は過去最高の55万人を記録するとともに、平成24年以降年間約50万人の入園者数を記録しています。

また、災害時の避難地確保や自衛隊との協定による救援活動の場の確保など広域的な防災拠点として地域防災力強化に寄与しています。

令和元年度補正予算の事業内容

都市公園における避難所等としての防災機能向上に資する施設整備や木造施設の防災対策等を実施します。



しなのがわ しづみがわ
信濃川水系渋海川河川改修事業の推進
 にいがた ながおか
新潟県長岡市

R1補正事業費
 192百万円

事業の概要

渋海川では、昭和53年6月26日豪雨により、全壊流出2戸、床上浸水831戸、床下浸水53戸の甚大な被害が発生しました。近年では平成16年、平成17年、平成23年に浸水被害が生じ、特に平成23年新潟・福島豪雨洪水では、床上浸水7戸、床下浸水15戸の被害が発生しました。このため河道改修を進めています。

整備効果

河道掘削・護岸整備を実施することにより、洪水を安全に流下させ浸水被害の解消を図ります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、長岡市才津町地内における渋海川の掘削・護岸工事を推進します。



【地域高規格道路 じょうえつうおぬま 上越魚沼地域振興快速道路】

国道253号 さんわやすづか 三和安塚道路事業の推進

にいがた じょうえつ
新潟県上越市

R1補正事業費
95百万円

事業の概要

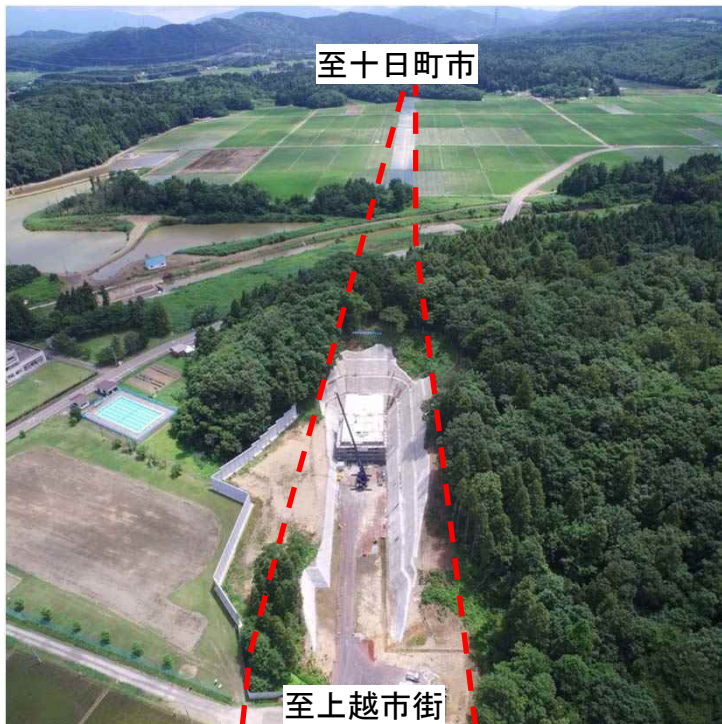
さんわやすづか 三和安塚道路は、現道の狭小幅員区間及び主要渋滞箇所の解消、物流の効率化及び地域間交流の支援を目的とした道路であり、じょうえつ さんわ ひろた 上越市三和区広田から同市安塚区松崎間の延長約9.4kmの事業です。

整備効果

- ・北陸新幹線駅（じょうえつみょうこう 上越妙高駅）及び重要港湾（なおえつ 直江津港）へのアクセス向上
- ・緊急救命施設（県立中央病院）へのアクセス向上
- ・冬期も含めた災害に強い道路ネットワークの形成

令和元年度補正予算の事業内容

さんわやすづか 補正予算の充当により、一般国道253号三和安塚道路の
じょうえつ さんわ ひろた じょうえつ うらがわら やまもと
上越市三和区広田～上越市浦川原区山本間における改良工
を実施し、早期開通に向けて事業を推進します。



[スマートICアクセス道路]

新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）事業の推進

新潟県新潟市

R1補正事業費
542百万円

事業の概要

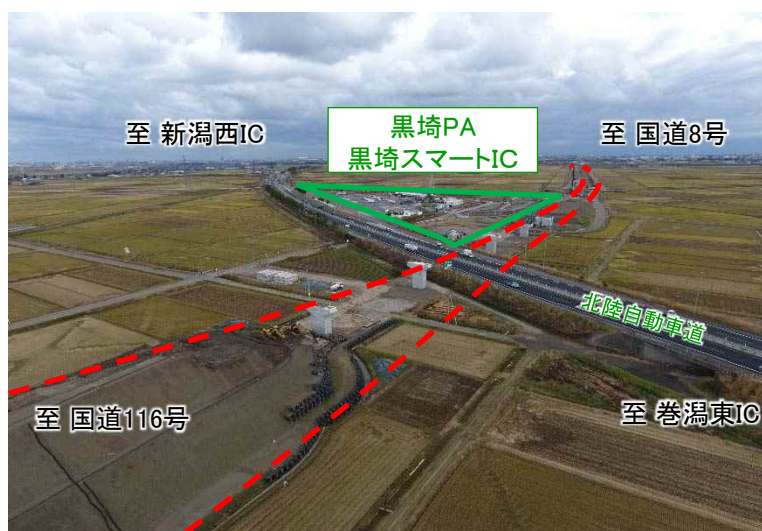
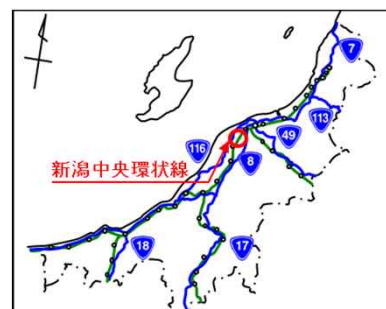
新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）は、多核連携型の新潟都市圏を環状に連絡する主要幹線道路であり、北陸自動車道黒埼スマートICの機能強化に合わせ、物流、救命ネットワークの活性化等を目的とし、新潟市南区上塩俵～同市西区明田までの延長約5.8kmを整備する事業です。

整備効果

- ・災害時における円滑な交通を確保し、地域拠点間の連携と強靱化を推進
- ・救急・救命・救助活動の30分圏域のカバー率が拡充
- ・黒埼スマートICと工業団地などを接続し、新たな物流軸の構築による成長産業の育成・地域の活性化を支援
- ・西区・西蒲区・南区に点在する、歴史・文化・観光資源の価値と魅力をつなぐネットワークを構築

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、主要地方道新潟中央環状線における改良工を実施し、早期開通に向けて事業を推進します。



施工状況（黒埼工区）

ひめかわ にしふとう
姫川港 西ふ頭地区
国内物流ターミナル整備事業の促進

にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

R1補正事業費
690百万円

事業の概要

ひめかわ
姫川港は、背後地域における国内物流の拠点として重要な役割を担っており、船舶の大型化等への対応のため、物流ターミナルの整備を促進しています。

整備効果

貨物の取扱能力が向上し、荷役効率化と輸送コストの縮減が図られます。

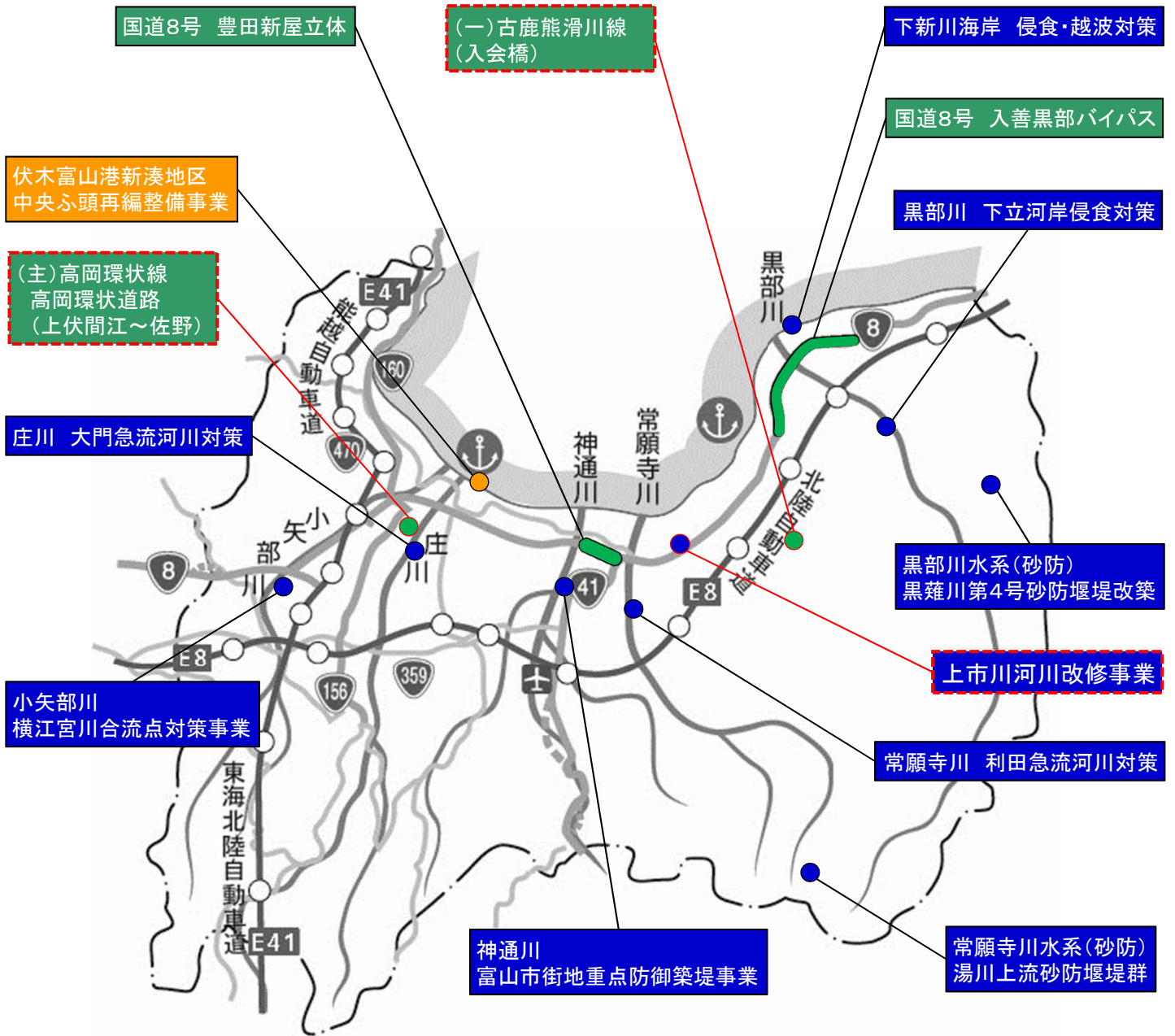
令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、泊地の整備を促進します。

【位置図】



富山県内の主要事業



国道8号 豊田新屋立体

(一)古鹿熊滑川線
(入会橋)

下新川海岸 侵食・越波対策

伏木富山港新湊地区
中央ふ頭再編整備事業

国道8号 入善黒部バイパス

(主)高岡環状線
高岡環状道路
(上伏間江～佐野)

黒部川 下立河岸侵食対策

庄川 大門急流河川対策

黒部川水系(砂防)
黒薙川第4号砂防堰堤改築

小矢部川
横江宮川合流点对策事業

上市川河川改修事業

常願寺川 利田急流河川対策

神通川
富山市街地重点防御築堤事業

常願寺川水系(砂防)
湯川上流砂防堰堤群

凡例	治水事業
	道路事業
	港湾・空港事業
	直轄事業
	補助事業

黒部川 下立 河岸侵食対策 の推進

とやま くるべ
富山県黒部市

R1補正事業費
201百万円※1

※1:黒部川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

黒部川は、黒部市内を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

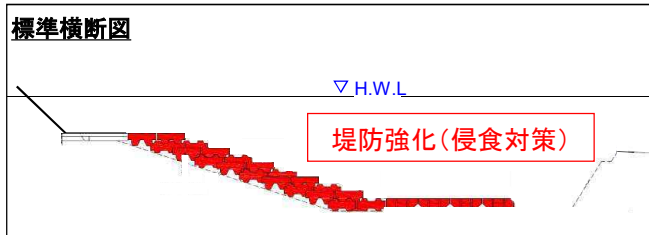
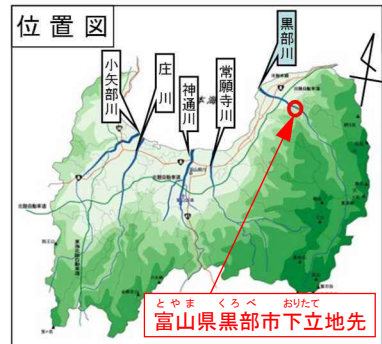
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

堤防強化（侵食対策）を推進することで、黒部川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、下立地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。



常願寺川 利田 急流河川対策 の推進

とやま なかにいかわ たてやままち
富山県中新川郡立山町

R1補正事業費
70百万円※1

※1: 常願寺川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

常願寺川は、富山市・立山町を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

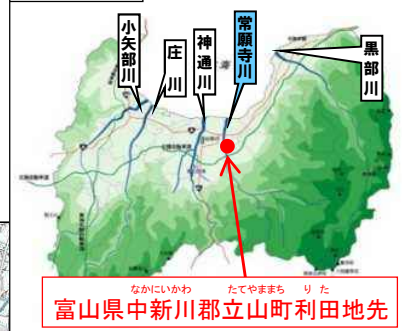
整備効果

堤防強化（侵食対策）を推進することで、常願寺川流域の治水安全度を向上させます。

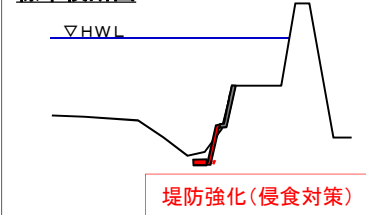
令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、利田地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。

位置図



標準横断面図



神通川 富山市街地重点防御築堤事業 の推進

富山県富山市

R1補正事業費
400百万円※1

※1:神通川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

神通川は県都富山市を貫流する河川であり、特に富山市の安野屋地区は背後地に市街地・公共施設・主要交通網（新幹線・鉄道・国道・主要地方道等）を抱える重要な地域となっています。

このため、当該地区が堤防の決壊による洪水氾濫が発生した場合には、富山市街地等が浸水し、甚大な被害になることが予想されます。

一方、当該地区は、堤防の高さや幅が不足している弱小堤区間になっています。また、神通川は急流河川であるため、洪水の流れが強く、堤防の侵食を受けやすいことから、これらの要因によって堤防が決壊に至る危険があります。

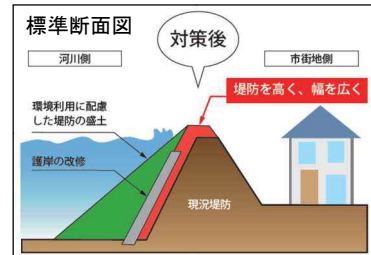
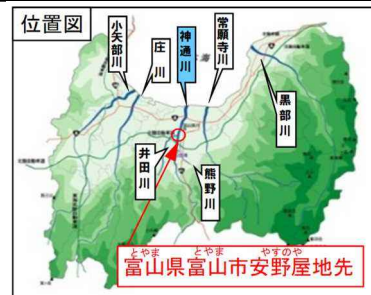
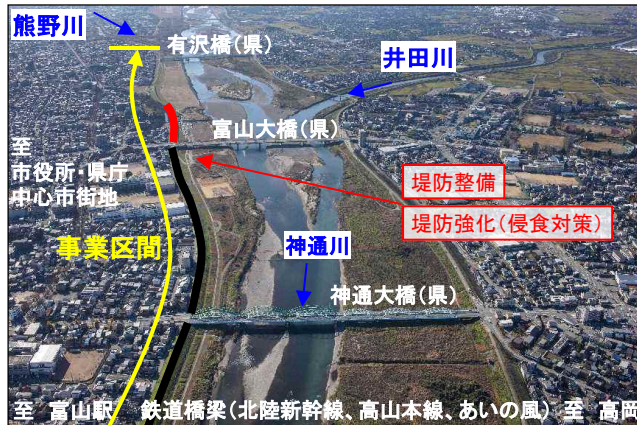
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防整備及び堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

堤防整備及び侵食対策を推進することで、神通川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、安野屋地区の堤防整備及び堤防強化（侵食対策）を推進します。



庄川 大門 急流河川対策 の推進

とやま いみず
富山県射水市

R1補正事業費
140百万円※1

※1: 庄川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

庄川は、射水市内を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

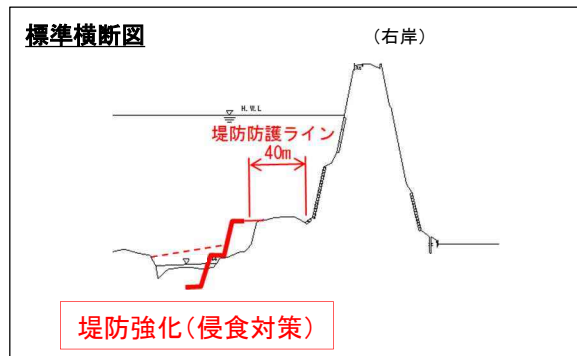
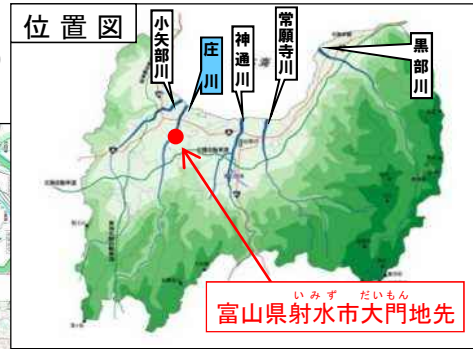
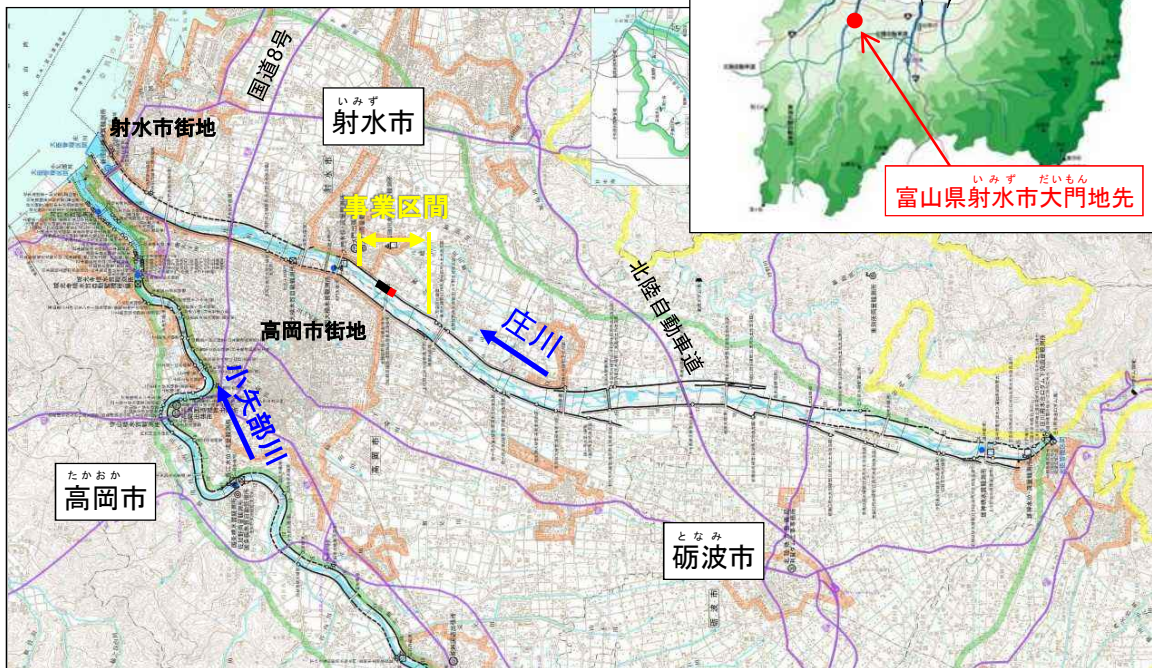
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

堤防強化（侵食対策）を推進することで、庄川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、大門地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。



おやべがわ よこえみやかわ 小矢部川 横江宮川合流点对策事業 の完成

とやま たかおか
富山県高岡市

R1補正事業費
282百万円※1

※1:小矢部川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

小矢部川^{おやべがわ}は平野部を流れる緩流河川であり、庄川^{しょうがわ}扇状地の末端を流下することから多数の支川が合流しています。近年の出水（平成20年7月集中豪雨）で浸水被害が発生している支川（横江宮川^{よこえみやかわ}）において、富山県が行う改修事業と連携・調整を図りながら合流点对策に着手しました。

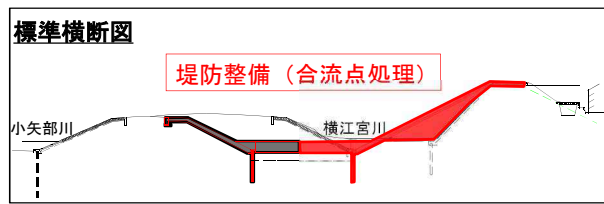
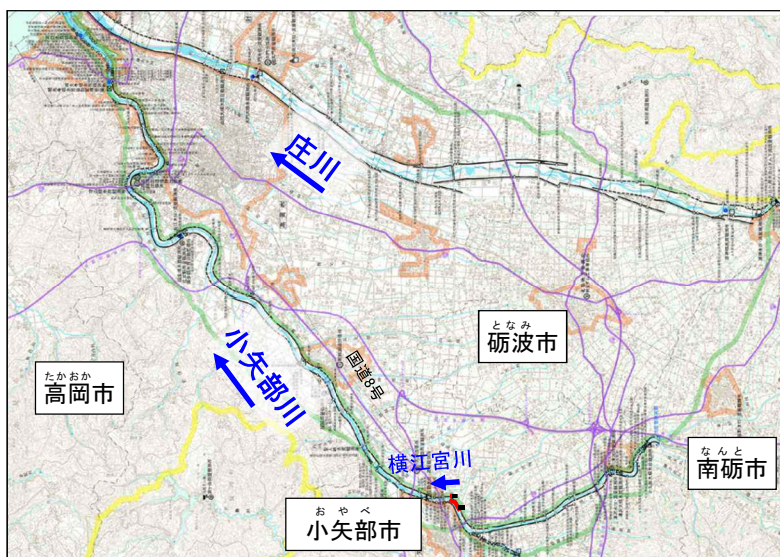
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防整備（合流点処理）を完成させます。

整備効果

堤防整備（合流点処理）が完成することで、小矢部川^{おやべがわ}流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、福町地区^{ふくまち}の堤防整備（合流点処理）を完成させます。



じょうがんじがわ
常願寺川水系直轄砂防事業の推進
 とやま とやま なかにいかわ たてやままち
富山県富山市・中新川郡立山町
 ゆかわ
(湯川上流砂防堰堤群)

R1補正事業費
 323百万円

事業の概要

じょうがんじがわ ゆかわ たてやま
 常願寺川水系の湯川流域には、立山カルデラの内壁を形成する火山噴出物由来の崩壊斜面が多数存在し、約150年前（安政5年）の大地震で大崩壊したとんびやまからの土砂が、不安定な状態で河床内に大量に堆積しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生危険性が高まっています。

このため、ゆかわ湯川上流砂防堰堤群では、荒廃が著しいたてやま立山カルデラ内の本流である湯川上流本川に、計4基からなる砂防堰堤群を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、じょうがんじがわ常願寺川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象でありとやま富山県の地域経済と教育文化の中心地であるとやま富山平野の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します。



下流域の保全対象(富山平野)



湯川上流に残る富山県の治山堰堤

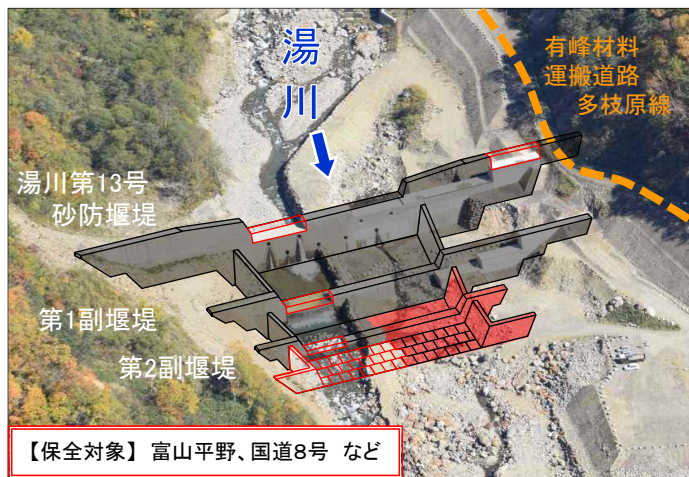


立山カルデラで土石流
十六日午前一時、湯川上流で土石流が発生し、立山カルデラ内の崩壊斜面から土砂が大量に流出し、湯川上流に堆積した。この土石流は、湯川上流の砂防堰堤に堆積し、堰堤の機能を低下させた。また、湯川上流の崩壊斜面は、大雨による土砂崩壊の危険性が高まっている。

H17 湯川上流で発生した土石流



H19 土石流による被害(湯川第16号)



【保全対象】 富山平野、国道8号 など

くろべがわ
黒部川水系直轄砂防事業の推進
とやま くろべ くろなぎがわ
富山県黒部市（黒薙川第4号砂防堰堤改築）

R1補正事業費
370百万円

事業の概要

黒部川水系の上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

この中で黒薙川流域では、平成18年5月に上流域の北又谷で発生した崩壊地の拡大により発生した不安定な大量の土砂が河床内に堆積しており、今後、大規模な土石流が発生し、宇奈月温泉等の観光資源や電力施設が被災することが懸念されるため、砂防堰堤対策事業の強化が必要になっています。

このため、黒薙川第4号砂防堰堤改築では、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させるスリット化も含めた改築工事を実施することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、黒薙川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、保全対象である黒部市や入善町の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します。



黒部川本川と事業箇所的位置関係



位置図



H7年 黒薙温泉 泉源被災状況



【保全対象】黒部市
黒薙温泉施設、黒部峡谷鉄道、発電施設



甚大な被害を伝える
H7年当時の新聞報道

しもにいかわ 下新川海岸 侵食・越波対策の推進 (園家地区) そのけ

とやま しもにいかわ にゅうぜんまち
富山県下新川郡入善町

R1補正事業費
607百万円※

※下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業のR1補正全体事業費

事業の概要

しもにいかわ とやまわん よ まわ ふうろう
下新川海岸は、富山湾特有の「寄り回り波」や「冬期風浪」といった高波浪の影響で越波や海岸侵食の被害が生じており、平成20年2月24日の高波被害では、直立堤や離岸堤等の海岸保全施設が被災し、越波により背後地の家屋に浸水被害が発生しました。

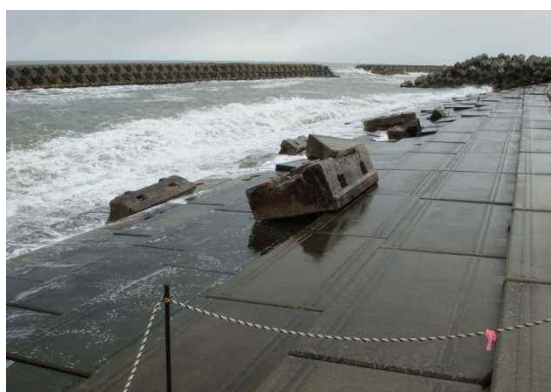
このため、離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設を整備することにより、背後の住宅等を越波、浸水から守ります。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和元年度補正予算の事業内容

しもいいの そのけ
補正予算の充当により、下飯野(園家)地区の副離岸堤の整備を推進します。



緩傾斜堤の被災状況(園家地区)(平成20年2月)

国道8号 ^{にゅうぜんくろべ}入善黒部バイパス事業の推進

^{とやま} ^{しもにいかわ} ^{にゅうぜんまち} ^{くろべ} ^{うおづ}
富山県下新川郡入善町・黒部市・魚津市

R1補正事業費
100百万円

事業の概要

^{にゅうぜんくろべ}入善黒部バイパスは、一般国道8号の^{とやま}富山県入善町から^{うおづ}魚津市間における交通渋滞の緩和を目的とした、^{しもにいかわ}下新川郡入善町^{うおづ}櫛山から^{うおづ}魚津市江口に至る延長約16.1kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 幹線ネットワークの充実強化
- ・ 沿道環境の改善

令和元年度補正予算の事業内容

現在、^{にゅうぜんくろべ}入善黒部バイパスでは、^{にゅうぜんまち}入善町^{うわの}上野から^{くぬぎやま}同町櫛山区間（現道拡幅区間）の4車線化に向けて、用地買収及び改良工事を推進しています。

補正予算の充当により、^{うわの}上野地区の改良工事（現道拡幅のための盛土）を実施し、早期の開通に向けて事業を進捗します。



▲ 上野地区の施工状況

国道8号 豊田新屋立体事業の推進

とよた あらや
とやま とやま
富山県富山市

R1補正事業費
400百万円

事業の概要

豊田新屋立体は、一般国道8号の富山市内における交通渋滞の緩和、交通事故の削減、幹線道路ネットワークの強化を目的とした、富山市小西から同市粟島町に至る延長約2.9kmの交差点立体化事業です。

整備効果

- ・交通渋滞の緩和
- ・交通事故の削減
- ・幹線道路ネットワークの強化

令和元年度補正予算の事業内容

現在、豊田新屋立体では、立体道路（高架橋）整備に向けて必要となる用地買収及び改良工事、富山跨線橋下部工事を推進しています。

補正予算の充当により、小西地区の改良工事（迂回道路整備）及び富山跨線橋下部工事を実施し、早期の立体道路（高架橋）整備に向け、事業を推進します。

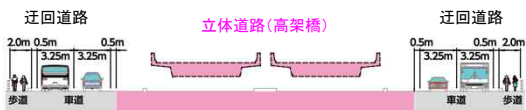


豊田新屋立体の整備の進め方

■現在: 交通を切り回すための迂回道路(側道)を整備



■迂回道路(側道)へ交通を切りまわし高架橋を整備



■完成した高架橋へ交通を切りまわし、歩道・側道を整備



【凡例】 整備箇所 車両通行箇所



ふしきとやま しんみなと
伏木富山港 新湊地区
中央ふ頭再編整備事業の実施

とやま いみず
富山県射水市

R1補正事業費
700百万円

事業の概要

ふしきとやま しんみなと
伏木富山港新湊地区では、船舶の大型化、取扱貨物の増加に対応するため、中央2号岸壁の増深改良(水深14m化)を行うとともに、一部係留施設の廃止、貨物の集約、ふ頭用地の利用方法を見直すなど、ふ頭の再編を実施しています。

整備効果

大水深岸壁(水深14m)不足から発生する非効率な荷役形態が解消されます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、岸壁の増深改良を実施します。

【位置図】



かみいちがわ
上市川河道掘削等の推進
 とやま なめりかわ なかにいかわ かみいちまち
富山県滑川市・中新川郡上市町

R1補正事業費
 100百万円

事業の概要

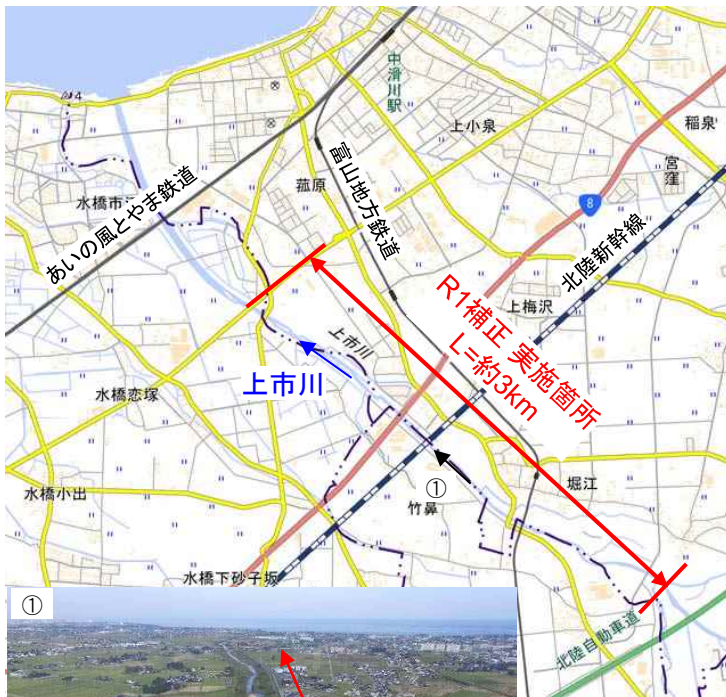
上市川は、河道内に堆積した土砂や繁茂した樹木により、川の流れを阻害し、洪水の原因となる恐れがあります。そのため、洪水を安全に流すことを目的に、緊急的に対策が必要な区間において、樹木伐採、河道掘削を実施します。

整備効果

樹木伐採や河道掘削の実施により、浸水被害の防止・軽減を図ります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、滑川市堀江地内・上市町石仏地内などの樹木伐採、河道掘削の実施により、浸水被害の防止・軽減を図ります。



[地域高規格道路 ^{たかおか}高岡環状道路]

(主) ^{たか おか}高岡環状線事業の推進

^{と やま たか おか}富山県高岡市

R1補正事業費
151百万円

事業の概要

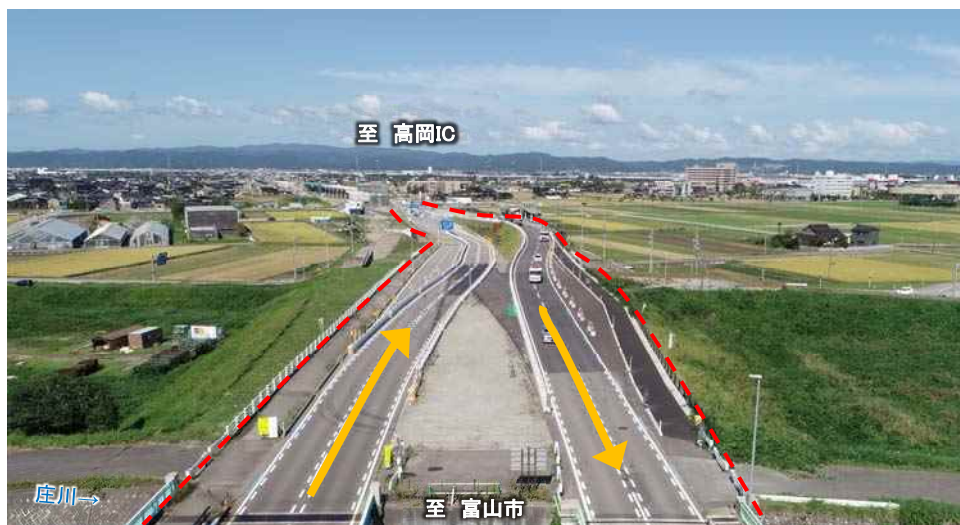
主要地方道高岡環状線は、^{たかおか}高岡市内の環状道路の一部を形成するとともに、^{のうえつ}能越自動車道 ^{たかおか}高岡ICへ連絡する重要な路線です。
^{のうえつ}能越自動車道 ^{たかおか}高岡ICから北陸新幹線新高岡駅へのアクセス向上による広域交通の活性化に資するとともに、^{たかおか}高岡市内の渋滞緩和による物流の効率化への寄与も目的とした、延長2.6kmの道路です。

整備効果

- ・^{のうえつ}能越自動車道 ^{たかおか}高岡ICから北陸新幹線新高岡駅へのアクセス向上
- ・^{たかおか}高岡市街地への流入交通の分散により、市内の交通渋滞を緩和
- ・^{のと}県西部地域や能登地域との物流・交流の促進による地域の活性化

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、主要地方道高岡環状線の二塚交差点における改良工を実施し、早期開通に向けて事業を推進します。



^{しょうがわ}施工状況 (庄川 周辺)

ふるか くま なめりかわ いりあいばし
(一) 古鹿熊滑川線 入会橋補修事業の推進
とやま とやま
富山県魚津市

R 1 補正事業費
40百万円

事業の概要

ふるか くま なめりかわ とやま うおづ ふるか くま なめりかわ
 一般県道古鹿熊滑川線は、富山県魚津市古鹿熊から同県滑川市中心部へ至る路線です。
いりあいばし
 入会橋は当該路線に架かる橋梁であり、昭和41年（橋齢53年）の架橋から老朽化が進行
 しており、長寿命化修繕計画（平成29年3月）における要修繕箇所であることから、補修
 工事を行い、安全で信頼性の高い道路ネットワークづくりを進めます。

整備効果

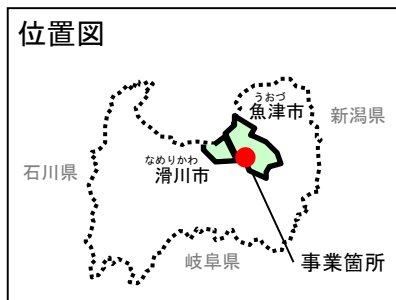
- ・安心・安全な通行の確保
- ・なめりかわ
滑川市中心部へのアクセス向上

令和元年度補正予算の事業内容

いりあいばし
 補正予算の充当により、入会橋の橋梁修繕を推進し、長寿命化修繕計画に基づく修繕工事
 により、安全で信頼性の高い道路ネットワークを形成します。



損傷状況 河床洗掘



← 至 滑川市



至 魚津市 →



施工状況（橋梁下部工事）